

認知症の人の看とりをどうする？  
家族、介護福祉士、医師、それぞれの立場から

## 「認知症のケアと看とり」連続トークイベントのご案内

拝啓 春暖の候 皆さまにおかれましては ますますご健勝ご活躍のことと存じます。

この度、人気ドキュメンタリー映画シリーズ『毎日がアルツハイマー』の最新作にして、最終章となる「毎日がアルツハイマー ザ・ファイナル」の製作決定を受け、関口祐加監督がホストを務める連続トークイベントの開催が決定しました。シリーズを通して関口監督が探求を続けてきた「認知症ケア」と、最新作のテーマである「看とり」について、介護・医療の現場でご活躍のゲストを迎え、多面的なアプローチで考えます。本イベントに介護、医療に従事されている皆さまにご参加頂きたく、ご招待状を送らせていただきます。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

敬具

### <連続トークイベント「認知症のケアと看とり」>開催概要

キックオフ 3/24 (金) 19:00～ 【参加無料】	テーマ	「頑張る」介護にさようなら！ ～みんなの「できない」をオープンに
	ゲスト	関口祐加監督（『毎日がアルツハイマー』シリーズ）
	会場	千代田区立日比谷図書文化館・スタジオプラス
第1回 4/6 (木) 19:00～ 【参加無料】	テーマ	介護福祉士という仕事 ～育成から介護の現場まで
	ゲスト	飯塚裕久さん（介護福祉士・ケアワークアカデミー校長） 関口監督
	会場	千代田区立日比谷図書文化館・スタジオプラス
第2回 4/23 (日) 14:00～ 【当日：1000円】	テーマ	認知症の人の世界で生きる ～認知症ケアとイメージネーション（想像力）
	ゲスト	菅原直樹さん（介護福祉士・俳優・「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰） 関口監督
	会場	蔭涼寺（岡山県岡山市北区中央町 10-28）
第3回 5/11 (木) 19:00～ 【参加無料】	テーマ	認知症と医療、その先の看とり ～医師として、家族として
	ゲスト	齋藤正彦さん（東京都立松沢病院院長・精神保健指定医） 関口監督
	会場	千代田区立日比谷図書文化館・コンベンションホール

イベントの詳細は特設サイト：[http://maiaru.com/2017/03/07/talk\\_event/](http://maiaru.com/2017/03/07/talk_event/)

本イベントへのご参加をご希望の方はお手数ですが、下記までご連絡ください。

■MAIL：[info@maiaru.com](mailto:info@maiaru.com)（参加日程／お名前／ご所属／ご連絡先をご記入の上、ご返信ください）

■FAX：03-6730-9652（下記ご記入の上、ご返信ください）

参加日程：  3/24  4/6  4/23（岡山）  5/11

お名前： \_\_\_\_\_ 様

ご所属 \_\_\_\_\_

MAIL／TEL： \_\_\_\_\_

【お問い合わせ先】  
「毎アル」友の会（担当：西）  
〒162-0825  
東京都新宿区神楽坂 2-19-603  
TEL：090-6187-7110／FAX：03-6730-9652  
MAIL：info@maiaru.com

## ■認知症の見方を変えたドキュメンタリー映画

2025年には日本の人口の約30%が65歳以上の「高齢者」となり、その内の5人に1人が認知症を患うといわれています。2012年に公開された『毎日がアルツハイマー』（『毎アル』）は、高齢化社会の日本で多くの人が抱えている「介護」や「認知症」への不安を払拭。「認知症の見方を変えた！」ともいわれ、日本中の介護当事者に元気と笑顔を届け続けているドキュメンタリー映画シリーズです。

始まりは映画監督である娘（＝ 関口 祐加監督）が認知症の母との暮らしを赤裸々に撮影した短い動画でした。YouTube上で介護に悩む家族や介護・医療従事者など多くの人々の共感呼び、累計再生数は100万以上。反響を受けて映画『毎日がアルツハイマー』と『毎日がアルツハイマー2 関口監督、イギリスへ行く編』が製作・公開されました。

『毎日がアルツハイマー』 <http://maiaru.com/>

## ■“看取り”と“死”をテーマにした完結編

『毎日がアルツハイマー ザ・ファイナル』は『毎アル』シリーズの完結編です。母 宏子さんは認知症の最終ステージに突入。2014年～2015年に脳の虚血症発作で4度も倒れ、意識不明となったことを宏子さんは全く覚えていません。「母の“命”は介護者である自分が預かっている。その責任をどう考え、何を準備すればいいのか??」この問いが新たな“認知症探求の旅”の出発点となり、『毎日がアルツハイマー ザ・ファイナル』の製作がスタートしました。認知症最終ステージの母の“看取り”と誰しにも訪れる“死”をテーマに、2017年の完成、2018年の劇場公開を目指します。

## ■『毎日がアルツハイマー ザ・ファイナル』概要

<あらすじ>

認知症の母・宏子さんが虚血症発作で意識を失い倒れた。その影響もあり、認知症は最終ステージに進行。同じ頃、宏子さんの介護者である関口監督にも大きなピンチが訪れる。長年の両脚の痛みが悪化し、歩行不能に陥り、両脚股関節全置換の手術を受けることになったのだ。「死ぬのを忘れてる」と笑う母は、いつ脳の虚血症発作を起こすか分からない状態。「この先どのくらい母を支えていけるのだろうか？」関口監督は初めて在宅介護に不安を感じる。その中で、入院中に知り合った高齢の女性が緩和ケア病棟で亡くなったり、かつて暮らしていたオーストラリアの友人ががんを患ったりと、死を意識する機会が立て続けに訪れる。自然死、平穏死、尊厳死、安楽死...命が尽きるその瞬間まで「生きてきてよかった」と心から満足を得られる死とは一体どのようなものなのか? <幸せな“死”=ハッピーエンディング>を求め、国内外の認知症ケア施設、緩和ケア病棟などを撮影し、誰もが避けて通れない死について正面から考える。

## ■『毎日がアルツハイマー ザ・ファイナル』完成に向け、応援プロジェクトを実施中

『毎日がアルツハイマー ザ・ファイナル』完成に向け、資金調達と目的とした応援プロジェクトを実施中です。全国各地で応援イベントが開催されているほか、支援者の方には豪華な特典が用意されています。目標達成の際には、「パーソン・センタード・ケア(PCC)※」発祥の地 イギリスから『毎日がアルツハイマー2 関口監督、イギリスへ行く編』（『毎アル2』）にもご出演いただいた認知症ケア・アカデミー施設長のヒューゴ・デ・ウァール博士の日本招聘も予定されています。

『毎日がアルツハイマー ザ・ファイナル』完成応援プロジェクト

[http://maiaru.com/2017/02/22/final\\_ouen/](http://maiaru.com/2017/02/22/final_ouen/)

【お問い合わせ】「毎アル」友の会（西） 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-19-603

Mail [info@maiaru.com](mailto:info@maiaru.com) / Tel 090-6187-7110 / Fax 03-6730-9652